

社会人のキャリアアップ、キャリアチェンジを応援する“社会人学び直しプログラム”です

秋田大学アドバンスト・リエデュケーション・カリキュラム

AAReC (Akita-University Advanced Re-education Curriculum)

◆本プログラムの目的◆

社会人が時代のニーズに焦点をあてた教育・研究分野の先端の授業を履修し学修することで、自らのキャリアアップ・キャリアチェンジに結び付けられるように支援することを目的としています。

令和元年度集中講義

それぞれ2日間で終了する医理工連携・MOT科目です。

①「医理工連携実践論」(1単位)

月日	講義室	時間	担当教員	授業内容
8月20日(火)	理工学部1号館 共通224講義室	1・2時限 8:50~10:20	非常勤講師(セルスペクト株式会社) 岩淵 拓也	医理工連携型医療機器開発戦略のスキーム設計とデザイン手法について解説する。
		3・4時限 10:30~12:00	医学系研究科・助教 大佐賀 敦	RFIDを活用した新規システム開発の経験を交えて、産官学連携による開発について解説する。
		5・6時限 12:50~14:20	非常勤講師(独立行政法人医薬品医療機器総合機構) 渡辺 慶朋	医療機器開発におけるPMDAの役割について。
		7・8時限 14:30~16:00	非常勤講師(秋田県産業技術センター所長) 赤上 陽一	電界磁粒制御技術の創出が導く新たな医療機器開発。
8月21日(水)	理工学部1号館 共通224講義室	1・2時限 8:50~10:20	理工学研究科 教授 水戸部 一孝	VR技術を活用したヒトの行動評価手法について歩行環境シミュレータを例に解説する。
		3・4時限 10:30~12:00	理工学研究科 教授 涌井 秀樹	人体の正常構造と機能、および代表的な内科疾患の発症機序について概説する。
		5・6時限 12:50~14:20	理工学研究科 教授 寺境 光俊	材料表面の特性評価と抗血栓性の発現について。
		7・8時限 14:30~16:00	理工学研究科 教授 長縄 明大	消化管検査に用いられる機器として、内視鏡や内圧計測機器について解説する。

②「特許情報活用論」(1単位)

概要：1) 経営・研究の場において必要な技術の背景を把握するために、「特許情報」を活用する手法を身につける
2) 経営・研究の場において技術上の課題に直面したときに、「特許情報」を活用して解決するヒントを得る手法を身につける。
3) 「特許情報」を地図のように整理(パテントマップ)して、経営・研究の場に活用する手法を学ぶ。

日時：9月24日(火)8:50~16:00, 9月25日(水)8:50~15:15

講義室：情報統括センターPC実習室B

担当者：齋藤 昭彦・齋藤 博子(あきた知的財産事務所 代表弁理士)

③「ベンチャー起業論」(1単位)

概要：起業家として必要な経営戦略の考え方や財務の基本を習得するために、経営管理や財務の基本、最近の戦略志向、マーケティングの考え方、ICT/IoTの活用方法等を学ぶとともに、経営戦略の構築方法とその展開方法、経営戦略の取りまとめ方法を学習する。

日時：10月26日(土)8:50~16:00, 10月27日(日)8:50~15:15

講義室：情報統括センターPC実習室B

担当者：佐藤 善友((有)ジー・エフ・シー 代表取締役)

Point !

入学料，授業料は無料です。 ※検定料 9,800 円は必要です。

最終学歴が高等学校等卒業の方も履修できます。 ※履修資格審査は必要です。

将来，秋田大学大学院に正規生として進学された場合は，所定の手続きを経て，本プログラムの履修単位を入学後に修得したものとみなすことができます。

本プログラム利用者の声

- ・このプログラムをきっかけに秋田大学大学院への社会人入学を決めた。
- ・仕事と勉学の両立は大変だったが，学生さんと一緒に授業を受けることにより学ぶことの楽しさを思い出した。
- ・授業を受けることにより秋田大学の研究者と知り合え，ネットワークを構築することができた。今後，秋田大学との共同研究に発展させたい。

etc.

履修案内や出願書類の様式は秋田大学ホームページに掲載しております。<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/research/index.html>
お問い合わせやご要望は担当までお気軽にご連絡ください。
多くの方のご利用をお待ちしております。

担 当

国立大学法人秋田大学 地方創生・研究推進課 総務担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL : 018-889-2090

FAX : 018-889-2928

E-mail : gakken@jim.u.akita-u.ac.jp